

## 令和7年度学校関係者評価委員 報告

令和7年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 1. 学校関係者評価委員 敬称略

河野文夫 学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院 学院長

本 尚美 公益社団法人熊本県看護協会 会長

木村浩美 社会医療法人寿量会 ホームケアサポートセンター副センター長

栗崎 強 一新校区自治協議会会長

### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

開催日：令和8年3月26日（木）

### 3. 出席者 敬称略

河野文夫 学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院 学院長

本 尚美 公益社団法人熊本県看護協会 会長

木村浩美 社会医療法人寿量会 ホームケアサポートセンター副センター長  
(書面回答)

栗崎 強 一新校区自治協議会会長

### 4. 評価項目

- 1) 重点目標
- 2) 教育理念
- 3) 学校運営
- 4) 教育活動
- 5) 学修成果
- 6) 学生支援
- 7) 教育環境
- 8) 学生受入れ募集
- 9) 法令等遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

## I. 部門（重点）目標に対する学校関係者評価委員による評価

### 1. 教育活動について

ICTを活用した効果的な教育実践として模擬カルテを導入し、脳出血や肝硬変患者の事例を用いて、情報収集能力・アセスメント力の向上を目指している。新カリキュラム科目「看護管理学：チーム医療」では、令和6年度に実施した卒業生へのアンケート調査結果をもとに、ICTを活用した教育効果の成果について学会発表および論文にて公表している。

令和8年1月に新設されたシミュレーション棟は卒業前演習やフィジカルアセスメントの講義で有効活用している。シミュレーション棟の新設は県内唯一であり、国立病院機構内でも初めてである。

熊本市二の丸という立地において、母体病院である熊本医療センターの職員から講義や演習、実習指導に関する教育活動が充実し、臨床判断や臨床実践能力の強化ができる点は本校の大きな魅力であると考ええる。

### 2. 学生支援について

3年間を通じて授業・演習・実習指導、ピアティーチング活動、学校行事、自治会活動、進路決定・看護師国家試験対策など、教員間で学生の情報を共有し、支援体制を整えている。

卒業生（77期生）の熊本県内就職率は82.6%（38名/46名中）であり、NH0就職率は91.3%（42名/46名中）である。本校の教育理念である「看護師として必要な知識・技術・態度を身につけ、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成すること」を目指した教育の成果であると考ええる。

看護師国家試験については100%の合格率を維持し、学生は理想とする看護師像の自己実現に向けて国家資格を取得することができている。

### 3. 教育環境について

シミュレーション棟の新設に伴い、新たな教材・教具を導入し、整備を行っている。また、学校内だけではなく、実習関連施設や地域社会との連携を強化していることにより、教育環境が拡充し、教育の質向上につながっている。

### 4. 学生の受け入れ募集について

広報活動として、ホームページやインスタグラムをタイムリーに更新し、SNSをとおして本校の魅力を伝えている。

学生募集活動として開催している学校説明会に48名、オープンキャンパスに116名と多くの高校生・社会人・保護者が参加し、入試情報を発信している。学校説明会は情報提供や進路相談が主な内容であるが、オープンキャンパスでは、模擬授業やシミュレーター・新生児モデルなどを用いて、技術体験なども行っている。学校説明会・オープンキャンパス参加者から1割程度が指定校推薦、一般推薦、一般・社会人入学試験の応募があり、進路選択の機会となっている。

学校訪問は、訪問する高等学校数を前年度より拡大し、母体病院の熊本医療センター看護部職員と一緒に訪問・説明を行っている。また、臨床で活躍している卒業生を紹介し、就職後の将来像を描けるよう働きかけている。令和7年度より熊本市内の中学校（4校）にも訪問し、進路形成への早期アプローチを行い、看護師の人材確保に努めている。

地域の出前講座では、高等学校の進路相談会や地域住民を対象とした健康講座を開催している。看護教員の強みを生かした地域貢献だけではなく、受験生確保につながる広報活動の一環となっている。

### 5. 社会貢献・地域貢献について

ボランティア活動については、59名の学生が一新校区の地蔵祭りや幽霊妖怪絵画展、熊本城下町・菓子祭りなどにボランティアとして参加し、地域住民と交流を図っている。学生が自発的に社会貢献や奉仕活動を行い、地域住民の生活や環境に対する関心を高め、看護の視野を広げることができる活動となっている。

## II. 専門学校の評価指標を活用した質問紙による評価結果

評価項目		平均
教育理念に関する評価	1. 教育理念、教育目的・卒業時の人材像・学校の特色が明記され、学生や保護者に周知されているか。	3.3
	2. 教育目標、卒業時の人材像は医療の動向や社会のニーズに向けて方向付けられているか。	3.7
学校運営に関する評価	3. 病院全体の目的に沿った運営方針が策定され、その運営方針に沿って事業計画が策定されているか。	3.7
	4. 意思決定機能は規則等において明確にされているか。	3.7
	5. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.7
教育活動	6. 教育理念、教育目的、卒業時の人材像を踏まえて教育計画を立案し、教育計画に則って実施し、評価、改善を行っているか。	3.7
	7. 社会のニーズや医療の動向を踏まえて教育内容を改善し、学生が主体的に学ぶことができるように教育方法の改善や教育の資質の向上のための取り組みを行っているか。	3.3
学習成果	8. 就職率、看護師国家試験合格率の向上が図れているか。	3.7
	9. 卒業率の向上が図れているか。	3.7
	10. 卒業後のキャリア形成の効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか。	3.7
学生支援	11. 就職・進学に関する支援体制は整備されているか。	3.3
	12. 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.7
	13. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.3
教育環境	14. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3.7
	15. 学生が学校生活を快適に過ごせるように整備されているか。	3.7
学生の受け入れ募集	16. 学生募集は適正に行われているか。	3.3
	17. 学生募集活動は適切に行われており、その効果を評価しているか。	3.3
法令遵守	18. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.7
	19. 個人情報保護のための対策がとられているか。	3.7
	20. 自己点検・自己評価を実施し、その結果を公表しているか。	3.7
	21. 学校関係者評価を年に1回以上実施し、その結果を公表しているか。	3.7
社会貢献・地域貢献	22. 地域に対する公開講座・研修等の受託を積極的に実施しているか。	3.7
	23. 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.7

評価基準：4. 適切である 3. まあまあ適切である 2. 適切とまでは言えない 1. 適切ではない

### Ⅲ. 総括

今後の課題について以下の3点が挙げられた。

1. ICTを活用したシミュレーション教育を強化し、臨床判断能力の育成に取り組む。
2. 地域行事への参加やボランティア活動による地域交流及び主体的な学習活動を継続する。
3. 本校の特色ある教育（ICTを活用したシミュレーション教育等）や魅力を広く発信し、受験生の確保を図るとともに地域医療に貢献しうる人材育成に努める。

